

社団法人 日本病院会 平成20年度 第6回定期常任理事会 議事抄録

日 時 平成20年9月27日(土) 13:00～17:00
会 場 社団法人 日本病院会 5階会議室
出席者 山本 修三 会長
池澤 康郎、佐藤 眞杉、堺 常雄、大井 利夫、村上 信乃 各副会長
林 雅人、宮崎 瑞穂、石井 暎禧、木村 壯介、末永 裕之、松本 隆利、
武田 隆久、大道 道大、小川 嘉誉、中島 豊爾、安藤 文英、宮崎 久義
各常任理事
柏戸 正英、中川 正久、石井 孝宜 各監事
野口 正人 代議員会副議長
奈良 昌治 顧問
行天 良雄、松田 朗、鴨下 重彦、宇沢 弘文 各参与
宮下 正弘、藤原 秀臣、関口令安、岡留健一郎、星 和夫、有賀 徹、佐合 茂樹
各委員長
西村 昭男、三浦 將司、福田 浩三、水田 英司、高野 正博 各支部長
(7月2日入会会員)
辰川 自光(広島県・辰川会・山陽病院理事長) 総勢40名の出席

池澤副会長の議事進行により会議に入った。

開会に際し山本会長から、政界が再編成され、不安定な現状にあるが、本会の目的達成に向かった活動を継続して取り組みたい旨の挨拶があった。挨拶後、本会の元役員であった福井順先生が9月22日にご逝去された旨の報告後、出席者一同の黙祷が実施された。

黙祷後、山本会長から、会議定足数として、定数25名中、出席17名、委任状7通、計24名(過半数13名)で会議が成立している旨の報告後、議事録署名人に、末永 裕之、松本 隆利両常任理事を選任し議案審議に入った。

議事録署名人の選任後、7月2日に入会された山陽病院については、診療の都合により、到着が2時過ぎと聞いており、到着後、ご挨拶をいただく予定としている旨の報告があった。

〔承認事項〕

1. 会員の入退会について

前回の役員会後、正会員の入会2件、正会員の退会1件の届出について逐一紹介があり、検討の結果、届出を承認した。

(正会員の入会2件)

①宮城県・市町村・塩竈市立病院(会員名：伊藤 喜和 院長)

②東京都・医療法人・医療法人 董会 目黒病院(会員名：岡 潔 院長)

(正会員の退会1件)

①富山県・医療法人・友愛温泉病院

9月27日現在、正会員 2,657 会員

賛助会員 237 会員(A会員：97、B会員：100 会員、D会員：40)

2. 関係省庁および各団体からの依頼等について

下記依頼事項の届出について紹介があり、検討の結果、依頼を承認した。

(継続：協賛及び協力 2 件)

①第 20 回「国民の健康会議」(全国公私病院連盟)の協賛

②平成 20 年秋季全国火災予防運動(消防庁)に対する協力

(新規：協力・後援 2 件)

①病院・介護保険施設における地球温暖化対策のためのアンケート調査

(日本医師会)の協力

②シンポジウム「我が国の子どもの成育環境改善に向けて」(日本学術会議)の後援

(新規：委員 1 件)

①保健医療情報標準化会議(厚生労働省 医政局)の委員委嘱依頼

・推薦候補者：大井 利夫 副会長

3. 顧問の退任について

本会顧問として、鴨下 一郎衆議院議員に就任願っていたが、厚生労働副大臣に就任された折に関係団体の役員就任ができないとの理由で退任届けが提出された旨の経緯説明、退任を了承した。

4. 病院経営管理者養成課程通信教育の資格認定について

病院経営管理者養成課程通信教育の資格認定を検討し、「社団法人日本病院会 病院経営管理士」とした。養成課程通信教育の呼称も病院経営管理者養成課程を病院経営管理士とし、認定試験の実施、卒業者も対象とした。

(講演)

①DPCデータについて

京都大学大学院 今中 雄一 教授から、「医療の質と経済性の評価・向上」に向けてのDPCデータの活用について講演。QIP(Quality Indicator/Improvement Project)の目的(有力な病院同士でデータを比較し、医療の質と効率をさらに高め、制度・政策への参考とする活動)、活動報告ののち、出席者との意見交換を実施。

〔協議事項〕

1. 当面の諸問題について

(1)死因究明制度について

四病協の医療安全対策委員会での活動として、「医療安全対策委員会設置法案(仮称)大綱案」の問題点を検討している旨の報告。会として、一日も早く活用できる制度の確立を目指した活動を確認し本議題を終了した。

(2) 日本病院会のロゴマークについて

8月30日の常任理事会で候補作品6点を対象に投票を実施した。投票数による上位2点に絞り選定を協議したが、再検討となり、選定を見送った。

(3) 長寿医療制度について

舛添厚労大臣直属の「高齢者医療制度に関する検討会」が25日に開催され、高齢者医療についての見直しが検討されたが、組閣前の大臣発言、総選挙前の見直し提案等で動向が不透明であり、ある程度方向性が見えた時点で協議することとした。

〔報告事項〕

1. 各委員会等の開催報告について

下記委員会報告が実施され了承された。

(1) 第1回臨床研修委員会(9月1日)

・臨床研修制度の見直し 等

(2) 第2回臨床研修指導医養成講習会の開催結果(9月12日～14日)

・48名の受講、全員が修了認定。

(3) 救急医療委員会(9月2日)

・平成20年度救急医療アンケート調査について 等

(4) 病院経営管理者教育委員会(9月2日)

・退任講師の表彰、月報の取り扱い 等

(5) 病院経営管理者教育委員会 作業部会(9月25日)

・新カリキュラムに伴うシラバスの改定作業

(6) 診療情報管理士教育委員会・基礎課程小委員会(9月4日)

・教科書の改訂 等

(7) 診療情報管理士教育委員会・基礎課程小委員会(9月26日)

・診療情報管理士認定試験、スクーリングについて 等

(8) 診療情報管理士教育委員会・専門課程小委員会(9月19日)

・平成20年度後期試験の対応 等

(9) 診療情報管理課程通信教育・コーディング勉強会(8/30～9/21 開催分)

・各都道府県の23教室552名の受講。

(10) 日本診療録管理学会・第3回編集委員会(9月5日)

・学会誌の呼称について 等

(11) 医療制度委員会(9月3日)

・医療機関に於ける関係職種間の役割分担実態調査について 等

(12) 第6回人間ドック施設認定小委員会/人間ドック健診施設機能評価委員会(9月4日)

・人間ドック健診施設機能評価について 等

(13) 第5回医療経済・税制委員会(9月9日)

・平成21年度税制改正に関する要望について 等

(14) 第2回中小病院委員会(9月16日)

・第59回日本病院学会(熊本)時のシンポジウムについて 等

- (15)第4回インターネット委員会(9月19日)
・日病ロゴマークについて、Web会議、中継試験運用について 等
- (16)医療安全管理者養成講習会(9/19～9/20)
・224名の受講。
- (17)第6回編集委員会(9月25日)
・日病雑誌10月・11月号の企画・編集について 等

2. 四病協関係について

下記諸会議の報告があり、了承。

- (1)第4回・第5回医療安全対策委員会(9月1日・9月25日)
・医療安全調査委員会設置法案(仮称)大綱案の検討 等
- (2)第7回治療費未払問題検討委員会・作業部会(9月4日)
・未収金発生防止マニュアルの作成について 等
- (3)第17回治療費未払問題検討委員会(9月5日)
・債権回収会社から医療未収金管理の現状について説明 等
- (4)第6回医療保険・診療報酬委員会(9月5日)
・中医協(8月27日開催分)報告 等
- (5)第3回厚生省・福祉医療機構・四病協合同勉強会(9月24日)
・厚労省医政局総務課・指導課から医療行政に関する報告 等
- (6)第5回医業経営・税制委員会(9月10日)
・新公益法人制度の概要、平成21年度税制改正要望事項 等
- (7)第1回医療従事者対策委員会(9月19日)
・委員長の交代により、初回の委員会であり、出席委員との情報交換 等
- (8)第5回社会保障の財源問題を考える勉強会(拡大会)(9月19日)
・内閣府政策統括官(経済財政運営担当)から「社会保障と経済財政」について説明
- (9)第6回総合部会(9月24日)
・厚労省から「DPC レセプト提出時における包括部分に係る診療行為内容の添付(案)」
についての説明、メディカルスクール検討委員会報告書(案)について 等
- (10)日本医師会・四病院団体協議会懇談会(9月24日)
・医療関係問題についての意見交換

3. 日病協諸会議について

下記の諸会議の報告があり、了承された。

- (1)実務者会議(9月17日)
・医療提供体制、診療報酬のあるべき姿についての検討 等
- (2)代表者会議(9月25日)
・中医協(9月24日開催分)の概要報告、「原油価格高騰による燃料費、食材費、光熱費」
の変動調査概要 等

4. 中医協について

9月24日(水)総会で検討された「DPCにおける高額な医薬品等への対応」「介護老人保健施設入所者に対する処方せんの交付」についての概要説明。

5. 第6回社会保障審議会医療部会の開催報告について

9月4日(木)部会で取り上げた産科医療補償制度、平成21年度概算要求の概要(厚労省医政局)、医療安全調査委員会設置法案(仮称)大綱案等についての概要報告。

6. 第1回日本医療機能評価機構 病院機能評価方法の見直し検討会の開催報告について

9月9日(火)受診病院から、より良い認定に向けた評価の要望があり、機構内に検討会を設置し、に初回の検討会を実施し、「病院機能評価」の価値の向上に向けての検討が始まった。

7. 第49回日本人間ドック学会学術大会の開催報告について

9月11日(木)～12日(金)に徳島市(片岡 善彦 学会長)学会テーマを「厳しい医療情勢下の人間ドック」と題して開催。学術大会会長講演、教育講演等を含め講演は391題で参加者は延べ3,000人弱。学術大会前に実施された理事会での役員改選結果、来年の第50回学術大会は、日本病院会との合同とし東京で開催。

8. 産科医療補償制度の加入について

日本医療機能評価機構を運営組織として「産科医療補償制度」が来年1月1日から開始となる。日本病院会会員の制度未加入施設に対して加入案内を実施した。

9. 厚生労働省委託事業「病院勤務医勤務環境改善事業」の事前説明会開催報告について

9月23日(火)協力候補27施設、43名の受講を得て事前説明会を実施。

10. 厚労省「第6回医療情報の提供のあり方等に関する検討会」の開催報告について

9月26日(金)平成19年4月1日に創設された、「医療機能情報の提供制度」は都道府県が集約し情報提供することとなっており、このたびの「産科医療保障制度」への加入状況も追加することとなった。

定期常任理事会を終了し、日本病院政治連盟の会議に入った。

以上